

目次

発刊のことば

佐久町誌刊行会長
高見沢 久一

第一章 衣と食と住

第一節 衣服

まえがき	3
1 ふだん着	4
2 晴着	9
3 式服	11
4 ちょいちょい着	14
5 野良着	15
6 染色	18

7	男女の髪型	20
8	鉄漿	23
9	寝間と寝具	24
10	麻	26
11	はきものと冠りもの	29
12	雨具や雪の防具	33
13	はた織り	35
14	絹糸	38
	第二節 食生活	40
	まえがき	40
1	毎日の食事	43
2	原料と用具	48
3	晴れの食事	52
4	食品の加工	58
5	自家用醬油	60
6	味噌たき	62
7	飢饉の時の食べもの	65

8 山菜と野果実類

第三節 住居

まえがき

1 屋敷

2 古い家

3 間取り

4 いろり

5 燈火

6 新築工事

第二章 生産・生業

まえがき

第一節 稲作

1 稲作の起源

2 苗代づくりのうつり変り

3 苗代づくりの手順と管理

4 稲の品種の移り変り

66

69

69

71

72

81

83

87

91

101

101

101

103

104

105

5	田植	106
6	たんぼの管理	109
7	稲刈り	110
8	稲抜き	111
9	籾摺り	112
10	米の収量と小作料	114
11	貯蔵・販売	115
12	精白	116
13	水争議	117
14	農家の生計	117
第二節 畑作		
1	畑作のいろいろ	120
2	すたれていった作物	120
3	主食としての麦栽培	122
4	大豆の栽培	127
5	小豆の栽培	128
6	粟・黍の栽培	128

7	蕎麦	130
8	焼畑について	131
9	あらこ(開墾)	132
10	野菜栽培	133
第三節 家畜		
1	家畜の歴史	134
2	馬	135
3	牛	139
4	豚	139
5	山羊	140
6	うさぎ	140
7	にわとり	141
第四節 養蚕		
1	養蚕の歴史	142
2	蚕種のうつりかわり	143
3	蚕種のつけ方のうつり変り	144
4	飼育法のうつり変り	144

5	桑園	149
6	農閑期の仕事	151
7	救荒土木事業	152
第五節 炭 焼		
1	炭と生活のうつり変り	154
2	炭の種類と原料・製造法	154
3	炭焼一家の仕事	159
第六節 山猟・川漁		
1	山 猟	161
2	川 漁	164
第七節 果 樹		
1	果樹の歴史	166
2	果樹の種類	167
3	栽 培	167
4	採集・利用	168
第八節 木材・竹材・山仕事・工芸		
1	野山と言う山林	169

2	樹種と用途工芸	170
3	用材の伐り出し運搬	174
4	植林	176
5	山の幸	176
	第九節 鉱産物	177
1	鉱産物の種類は多い	177
2	鉱産物の種類と採掘・製錬・搬出	178
	第十節 その他の生業	181
	第三章 交通・交易	
	第一節 道路	185
1	ムラの道	185
2	近郷を繋ぐ橋と道	186
3	新海道	190
4	江戸時代よりの道	190
5	諏訪道	193

	第二節 運 搬	194
1	物資の運搬	194
2	人の運搬	200
3	水上運搬	204
	第三節 旅	206
1	遊 山	206
2	昔の旅	213
3	問屋場	220
4	文化の伝達	222
5	人の転住	225
	第四節 交 易	228
1	物物交換	229
2	行 商	230
3	せり売り	232
4	せり駒市	233
5	市	234
6	みせや(商店)	237

第四章 社会生活

第一節 ム ラ

1	ムラの始まり	245
2	組織	248
3	五人組(隣組)	251
4	土地利用、共有財産	253
5	ムラの役員、住民層	254
6	ムラの仕事	255
7	年令集団	258
第二節 家		
1	本家と分家	266
2	同族組織	269
3	嫡子と二、三男	279
4	相続	280
5	隠居	281
6	義理の親子関係	282

第三節 贈与・社交

1 贈与

2 社交——代表として結婚披露

第五章 民俗知識

まえがき

第一節 子供のしつけ

1 日常生活のしつけ

2 生業を覚えさせるためのしつけ

第二節 予知(予兆)

1 天候に関するもの

2 作柄に関するもの

3 火事や変り事に関するもの

4 旅の安全に関するもの

5 生まれてくる子供の性別に関するもの

6 夢に関するもの

7 縁起

321

319

318

316

313

311

301

301

297

292

292

291

285

283

283

	第三節 占いと呪い	323
	1 占い	323
	2 まじない	329
	第四節 物忌み	336
	1 齋み	337
	2 忌み(禁忌)	341
	第五節 民間療法	349
	1 ものもらいの対策	349
	2 耳の病気をなおす方法	351
	3 歯痛の処置	351
	4 鼻血を止める方法	352
	5 下痢、腹痛の療法	353
	6 子供のカンの虫の療法	354
	7 寝小便をなおす方法	355
	8 子供の熱病の対策	356
	9 のどにほねをたてたときの処置	357
10	うるしにかぶれたときの療法	358

11	やけどの手当……………	359
12	腹に噛まれたときの処置……………	361
13	イボをとる方法……………	362
14	シビレのきれたときの処置……………	364
15	昔薬用に使った野草……………	365
16	薬用の動物として使ったもの……………	368
17	昔佐久町でつくられた家伝薬……………	370
18	灸について……………	371
19	その他の民間医療……………	371

第六節 その他……………

1	妖怪、幽霊……………	374
2	計数(数理)……………	377
3	その他……………	380

第六章 人の一生……………

まえがき……………	387
-----------	-----

	第一節 妊 娠	388
1	妊 娠	388
2	腹 帯	389
	第二節 出 産	390
1	ウブヤ	390
2	出 産	391
3	命 名	392
4	お七夜	393
	第三節 育 児	395
1	宮参り	395
2	食い初め	396
3	初節句	396
4	誕生祝	397
5	子守り	397
	第四節 年の祝い	398
1	七五三	398
2	十三歳	399

3	十五歳	400
4	厄年	400
5	還暦	401
6	古稀・喜寿・米寿	401
第五節 結 婚		
1	恋愛結婚	403
2	見合結婚	403
3	酒入り	405
4	結納	405
5	結婚式	407
6	離婚	411
第六節 葬 祭		
1	目を落とす	413
2	告げ	414
3	湯灌と納棺	415
4	葬式の手伝い	416
5	お仁儀	417

第七章 年中行事

6	出 棺	418
7	寺送り	420
8	法 事	421
9	神葬祭	424
	序節 年中行事の意味と種々相	427
	第一節 よい歳を迎える準備	431
1	事八日とすすはらい	431
2	松迎え・シメ縄い・餅つき	432
3	大歳を迎える	439
	第二節 正月の行事	446
1	三カ日と節	446
2	松をおろす	455
3	子どもの正月行事	457
4	小正月のころ	465

5 二十日正月と晦日正月……………473

第三節 春の行事……………476

1 春のはじめ……………476

2 天神待ちと雛まつり……………481

3 カミガミのまつり……………484

第四節 夏から盆にかけての行事……………487

1 苗代作り前後……………487

2 端午の節句……………488

3 田植の前後……………490

4 盆の行事……………491

第五節 収穫を祝う……………496

1 収穫の前……………496

2 収穫の祝い……………498

第八章 芸能・口頭伝承

まえがき……………505

第一節 祭と伝承	505
1 神に関係するもの	505
2 仏に関係するもの	517
第二節 芸能	520
1 芝居	520
2 その他	522
第三節 昔の子供の遊びとうた	524
1 男の子の遊び	524
2 女の子の遊び	524
3 わらべうた	531
第四節 伝説	533
1 伝説	533
第五節 作業とうた	549
1 作業うた	549
第九章 言語生活	
第一節 方言	555

1	生活とことば	555
2	方言と共通語	559
3	佐久方言の特徴	563
4	地域産業と方言	568
5	養蚕用語表	574
	第二節 佐久方言集	579

第十章 信 仰

	まえがき	623
	第一節 ムラの信仰対象物名とその分布	624
1	大日向村	625
2	余地村	635
3	上海瀬村	640
4	下海瀬村	650
5	平林村	658
6	上村	666

7	高野町村……………	673
8	宿岩村……………	680
第二節 ムラの祭りと伝承……………		
1	正一位諏訪大明神……………	683
2	天神様の銭……………	685
3	宮浦神社と自成寺……………	686
4	明王塚とイボ神様……………	686
5	口開き塚と六地藏……………	687
6	川久保の石神仏巡りあれこれ話……………	688
7	畑ケ中の大般若転読祭……………	690
8	満恵塚と清水寺……………	692
9	大聖寺と寺げと……………	692
10	水神様について……………	693
11	蚕神様について……………	694
12	海瀬新田の稲荷神社……………	695
13	庚申塔……………	697
14	下後田神社について……………	698

15	御神木の樫について……………	699
16	薬師堂と松の大木……………	700
17	お薬師さんと女衆 <small>しやう</small> のお祭……………	701
18	岩水秩父札所観音像……………	703
19	部落あげてのお稲荷さんのお祭り……………	704
20	羽黒下のお祭り……………	706
21	平林の観音さま……………	707
22	御嶽座王大権現……………	716
23	十九夜念仏塔……………	718
24	堂小屋について……………	720
25	磯迦岳里宮道標……………	722
26	石尊大権現……………	722
27	青麻大権現……………	724
28	天神様のおまつり……………	725
29	日蓮さんの寒行に参加して……………	727
30	水神様のお札とタル流し……………	728
31	正一位源助稲荷社について……………	729

第三節	マケや家で祀る神仏	730
1	マケで祀る神や仏	730
2	家で祀る神や仏	735
第四節	山の神・水の神・火の神	741
1	山の神	741
2	水の神	742
3	火の神	744
4	荒神様と髪の毛	745
5	「イロリ」に塩をまく	746
第五節	講と代参講	749
1	どんな講があったか	750
2	代参講にはどんな講があったか	751
第六節	その他の信仰	755
1	雨乞い	755
2	風祭り	759
3	はやり病いよけ	759
第七節	町の現代宗教	760

1	神さま	760
2	仏さま	763
3	その他の宗教	767
4	民間信仰対象物の種類とその数	769
5	石造物はいつごろできたか	770
6	木造物について	771
	結び	772

佐久町全図

執筆者・資料調査員・協力者一覧

あとがき（編集部部长 篠原衛敏）

題字 佐久町長 高見沢 久一